



カンムリウミスズメ

門川町教育研究所

# ふれあい

平成21年12月NO7  
発行 門川町教育研究所  
所長 斉藤 義輝  
TEL 63-1566  
五十鈴小学校内(教育相談室)

## 教育研究所メッセージ

教育研究所では、学力向上をめざして、ドリル学習の工夫についての研究を行っています。今月は、この研究の中から、計算問題や漢字練習などを家庭学習の中でどのように取り組んだらよいか、ということについて紹介します。

この学習方法が身につくと、自分自身で学習を進めることができる力「自己学習力」を育てることができます。ぜひ、毎日の家庭学習の中で役立ててください。

## 計算ドリルは、答え合わせとくり返し練習が大切です！

### 自分で答え合わせをして、まちがいに気づこう！

答えを書くだけでは、どこでまちがったのかわかりません。自分で丸つけをして(低学年ではうちの人に見てもらって)まちがいを見つけ、正しくできるようにしましょう。できなかったことができるようになることが、一番大切です。

### 小4ドリル例

$$\begin{array}{r} 73\dots2 \\ 7 \overline{) 513} \\ \underline{49} \phantom{0} \\ 23 \\ \underline{21} \\ 2 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 66\dots11 \\ 6 \overline{) 407} \\ \underline{36} \phantom{0} \\ 47 \\ \underline{42} \\ 5 \end{array}$$

自分で丸をつけよう。

まちがいを見つけよう。

### まちがった問題を、3回練習しよう！

答え合わせをした後、まちがった問題を3回練習しましょう。その時は、最初にまちがったところができているか、確かめをしましょう。

できなかったことができるようになるためには、なぜまちがったのか、その原因を知ることが大切です。

このような家庭学習をとおして、自分で学習する力「自己学習力」を育てることができます。

### 小4ドリル例

まちがえた問題を2~3回練習しよう。

$$\begin{array}{r} 67\dots5 \\ 6 \overline{) 407} \\ \underline{36} \phantom{0} \\ 47 \\ \underline{42} \\ 5 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 67\dots5 \\ 6 \overline{) 407} \\ \underline{36} \phantom{0} \\ 47 \\ \underline{42} \\ 5 \end{array}$$

1回目

まちがいがいか確かめよう。

2回目

### 家庭での計算ドリル学習のポイント

勉強した結果を自分でチェックして、まちがいに気づき、できるようになることを大切にしましょう。

計算したことは消さずにそのままにしておき、どこでまちがったかがわかるようにしておきましょう。

計算と計算の間は十分に空けて、見落としや見まちがいの原因にならないように気をつけましょう。

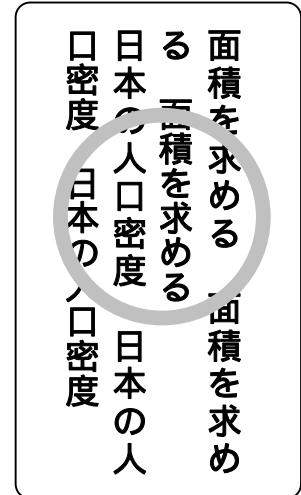
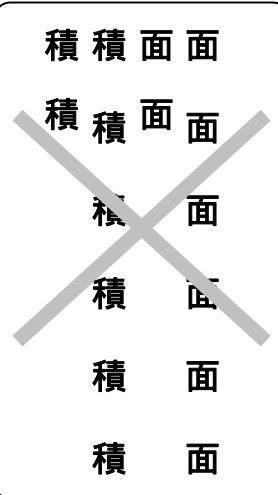
県

## 漢字練習は、熟語や短文で、使い方を練習することが大切です！

### 漢字の使い方を覚える練習をしよう！

漢字練習では、1字ずつバラバラに練習していませんか。漢字練習は、系統的、組織的に練習すると効果的です。

- ・ まず漢字の読み方をおぼえましょう。
- ・ 次にそら書きやなぞり書きで書き順を練習しましょう。
- ・ ひとまとまりの言葉として（熟語や短文で）3回ほど書く練習をしましょう。
- ・ 日記などの文章の中で、実際に使ってみましょう。
- ・ 読みかえもいっしょに練習しましょう。



## 教育研究所おすすめ、力がつく家庭学習の方法！

家庭学習で力がつくように、教育研究所のおすすめ勉強法を紹介します。

わかるようになる、できるようになる家庭学習に取り組みましょう。

**おすすめ1** 目・耳・口・手など、体を使って勉強しましょう。

\* 声に出す、何度も読む、書く、線を引くなどの動作で覚えましょう。

**おすすめ2** 答え合わせやまちがいチェックを必ずやりましょう。

\* チェックは、自分でやりましょう。（低学年はうちの人にやってもらいましょう。）

**おすすめ3** まちがったら、原因を見つけて3回ほどくり返し練習をしましょう。

\* 適度なくり返し練習をして覚えましょう。（多すぎると集中できないことも！）

**おすすめ4** 同じドリルを、日を変えて3回ほど練習しましょう。

\* 問題をしばって（偶数問題や奇数問題など）練習しましょう。

**おすすめ5** 国語や算数・数学・英語などの基礎教科には、毎日取り組みましょう。

\* 読み・書き・計算は、毎日続けましょう。



## 子育てや教育のことなどで、悩んでいませんか？

教育相談室に気軽に電話をしてください。

月曜日～木曜日・・・9時00分～16時00分

金曜日・・・9時00分～12時00分

相談電話（門川町教育相談室）

63 - 1566

~~~~返信欄（教育研究所便り「ふれあい」へのご意見やご感想をお聞かせください。）~~~~